

資料2

西 東 京 市
男女平等参画推進委員会
令和2年10月27日

西東京市第4次男女平等参画推進計画

西東京市第2次配偶者暴力対策基本計画

西東京市女性の職業生活における活躍推進計画

委員会評価報告

(令和元年度)

(Aグループ)

西東京市男女平等参画推進委員会評価

基本目標Ⅰ	人権の尊重
課題Ⅰ-Ⅰ	男女の固定的性別役割分担意識の解消（★重点課題）
施策（１）	男女平等参画推進のための意識啓発と情報提供
事業	①情報誌パリティの発行と配布
	②情報の提供
	③パリティまつりの開催
担当課	協働コミュニティ課・秘書広報課・公民館・図書館

施策全体についての評価

男女平等意識の啓発・浸透のため、様々な情報発信・提供が行われていることがわかり、大いに評価したい。今後は、情報のアクセシビリティを一層向上させ、さらに幅広い世代、属性の人々に向けて発信してほしい。	全体評価(年度)				
	R1	R2	R3	R4	R5
	A				

課別評価

担当課	事業番号	評価コメント	R1	R2	R3	R4	R5
協働コミュニティ課	①②③	「パリティ」の配布や講座の開催等、多様な形で情報提供を行い、また様々な世代に男女平等意識の浸透を図っている点を評価する。ただ、市HPのパリティ等の情報掲載に関しては、その存在を知らない人々に対し、もっとアクセシブルになると良いと思う。	総合評価				
			A				
			計画内容				
			A				
			執行状況				
			A				
課題把握							
B							
秘書広報課	②	積極的に情報発信を行っている点を評価する。しかし、市報やホームページ、SNSの活用に対して市民の評価や反応はどうか、課題の把握をもっと期待したい。	総合評価				
			A				
			計画内容				
			A				
			執行状況				
			B				
課題把握							
B							
公民館	②	広く情報提供が行われていることを評価する。公民館の利用者は、世代など属性がある程度固定化しているように思うので、普段利用しない層へのアピールを期待する。また、学習人材情報の活用が広がっているのかが知りたい。	総合評価				
			A				
			計画内容				
			A				
			執行状況				
			A				
課題把握							
B							
図書館	②	男女共同参画週間に行われた関連資料の展示貸出以外にも何か検討してほしい。ひばりが丘図書館以外の図書館での展示も期待したい。また、「具体的な事業」と「次年度の課題」が全く同じ内容になっているので、更なる工夫を望む。	総合評価				
			B				
			計画内容				
			B				
			執行状況				
			B				
課題把握							
C							

基本目標Ⅰ	人権の尊重
課題Ⅰ-Ⅰ	男女の固定的性別役割分担意識の解消（★重点課題）
施策（２）	男女平等に関する学習機会の提供
事業	①男女平等参画の視点にたった各種講座の開催
	②資料の収集と図書の貸し出し
担当課	協働コミュニティ課・子ども家庭支援センター・公民館・図書館

施策全体についての評価

講座の参加者を増やす工夫が多々見られ、成果につながっている点を評価したい。新たな参加者を呼び込む一層の工夫を期待する。	全体評価(年度)				
	R1	R2	R3	R4	R5
	A				

課別評価

担当課	事業番号	評価コメント	R1	R2	R3	R4	R5
協働コミュニティ課	①②	講座に関して、女性対象のテーマが多いように思うので、一部、男性の参加を促すようなテーマの検討を期待する。「受講者の自主活動につながるような支援の仕方を考える」という視点を評価する。	総合評価				
			A				
			計画内容				
			A				
			執行状況				
			A				
子ども家庭支援センター	①	父親と乳幼児が遊べる機会を利用しやすいように工夫を重ねている点を評価する。一般的に、母親に比べ、父親同士の交流の場が少ない傾向にある。シングルファザーも含め、父親が参加しやすいように一層の工夫を期待する。また、「延べ参加者は、563大（内父親132人）」とあるが、父親以外は「母親と子ども」だろうか？詳細が知りたい。	総合評価				
			A				
			計画内容				
			A				
			執行状況				
			A				
公民館	①	社会との関わりが薄くなってしまいう育児期や高齢期の女性たちにとって、講座が社会とのかかわりを取り戻すきっかけとなった点を評価したい。男性の参加をもっと増やす工夫を期待したい。	総合評価				
			A				
			計画内容				
			A				
			執行状況				
			A				
図書館	②	資料収集および提供に工夫を加えている点は評価できるが、課題の把握及び更なる取組みを期待したい。	総合評価				
			B				
			計画内容				
			B				
			執行状況				
			B				
課題把握							
C							

基本目標Ⅰ	人権の尊重
課題Ⅰ-Ⅰ	男女の固定的性別役割分担意識の解消（★重点課題）
施策（３）	メディア・リテラシーの普及・啓発の推進
事業	①情報誌パリティや講座等によるメディア・リテラシーの普及・啓発の推進
	②市発行物等の表現における男女平等ガイドラインの周知徹底
担当課	協働コミュニティ課・秘書広報課

施策全体についての評価

市報や市発行物における表現について、男女平等ガイドライン事例集を定型文に記載し、周知に努めたことは評価に値する。	全体評価(年度)				
	R1	R2	R3	R4	R5
	A				

課別評価

担当課	事業番号	評価コメント	R1	R2	R3	R4	R5
協働コミュニティ課	①②	メディアリテラシーについて学ぶ講演会を実施し、他の講座等でも情報提供をできるよう、会場に関連図書を設置、案内を行ったことは評価したい。 また、市報や市発行物における表現において、男女平等のガイドライン事例集について、各課周知したことを評価したい。	総合評価				
			B				
			計画内容				
			B				
			執行状況				
			B				
			課題把握				
秘書広報課	②	市報・ホームページ等における表現については、ガイドラインを活用し、担当課と調整を図り、情報発信に努めたことを評価したい。	総合評価				
			A				
			計画内容				
			A				
			執行状況				
			A				
			課題把握				
A							

基本目標Ⅰ	人権の尊重
課題Ⅰ-2	家庭・学校・地域における男女平等教育と学習の推進
施策（１）	男女平等参画推進のための教育・学習の実施
事業	①男女平等の視点にたった名簿等の活用
	②固定的な性別役割にとらわれないキャリア教育の実施
	③学校等における男女平等教育の実施
	④保育園や児童館、図書館などにおいて、男女平等の視点をもった関係図書の紹介等
担当課	教育指導課・協働コミュニティ課・保育課・児童青少年課・図書館

施策全体についての評価

男女平等の視点による「男女混合名簿」の統一、保育園・児童館の図書（絵本）の充実等評価したい。	全体評価(年度)				
	R1	R2	R3	R4	R5
	A				

課別評価

担当課	事業番号	評価コメント	R1	R2	R3	R4	R5
教育指導課	①②③	再三改善点等で指摘した「男女混合名簿」を統一したことについて評価したい。また職場体験においても性差関係なく体験したことも評価したい。「人権教育プログラム」の全教職員配布、研修等教員の男女平等意識や人権意識の向上に努めていただきたい。	総合評価				
			A				
			計画内容				
			A				
			執行状況				
課題把握							
A							
協働コミュニティ課	③④	情報誌「パリテ」を全中学校生徒向けに配布し、男女平等参画の意識啓発を行ったことを評価したい。保育園・児童館への男女平等に関する絵本・児童書の紹介、センター内の絵本コーナーの設置等、引き続き実施をお願いしたい。	総合評価				
			A				
			計画内容				
			A				
			執行状況				
課題把握							
A							
保育課	④	乳児連れの親子に読み聞かせ等を通じて図書の紹介等を行ったことについて評価するとともに、男女平等の視点を持った図書の情報把握・共有に努めていただきたい。	総合評価				
			A				
			計画内容				
			A				
			執行状況				
課題把握							
A							
児童青少年課	④	「パリテライブラリーニュース」の掲示・配布を評価したい。引き続き男女平等の視点を持った絵本等の紹介、啓発活動に努めていただきたい。	総合評価				
			A				
			計画内容				
			A				
			執行状況				
課題把握							
A							
図書館	④	「夏休みすいせん図書」を継続して、関係図書の選定・掲載に努めていただきたい。	総合評価				
			A				
			計画内容				
			A				
			執行状況				
課題把握							
A							

基本目標1	人権の尊重
課題1-2	家庭・学校・地域における男女平等教育と学習の推進
施策(2)	多様な性・多様な生き方を認める人権尊重の意識づくり
事業	①学校における人権教育の実施
	②多様な性や生き方に関する理解の促進
	③情報誌パリティの発行と配布(再掲)
	④国際交流等行事の実施
担当課	教育指導課・協働コミュニティ課・文化振興課

施策全体についての評価

学校における人権教育の充実、情報誌「パリティ」の発行による市民の男女平等意識の定着等、評価に値する。様々な機会を捉えて情報発信を行う取り組みを期待する。	全体評価(年度)				
	R1	R2	R3	R4	R5
	A				

課別評価

担当課	事業番号	評価コメント	R1	R2	R3	R4	R5
教育指導課	①	各学校における人権教育の計画・指導計画のさらなる改善、人権教育を評価したい。	総合評価				
			A				
			計画内容				
			A				
			執行状況				
			A				
協働コミュニティ課	②③	情報誌「パリティ」の発行により、市民の男女平等意識の定着を図ったことを評価したい。引き続き様々な情報提供をお願いしたい。	総合評価				
			A				
			計画内容				
			A				
			執行状況				
			A				
文化振興課	④	「西東京市多文化共生センター」において、日本人に対し多国籍の外国籍市民市民支援活動先の紹介等に取り組んだことは、評価したい。	総合評価				
			A				
			計画内容				
			A				
			執行状況				
			A				
課題把握							
A							

基本目標1	人権の尊重
課題1-2	家庭・学校・地域における男女平等教育と学習の推進
施策(3)	保護者・保育士・教員・地域団体等の男女平等意識の啓発
事業	①男女平等の視点にたった子育て情報誌の作成・配布
	②保育士等職員を対象とした男女平等意識の啓発
	③男女平等教育を推進するための教員の研修の実施
	④民生委員・児童委員や地域の団体等への啓発
担当課	子育て支援課・保育課・児童青少年課・教育指導課・地域共生課・協働コミュニティ課

施策全体についての評価

各対象者それぞれに対し、資料提供や講座内容の工夫、外部研修の活用により、男女平等の意識醸成を図っていること、および関係者間の連携を進めていることは評価できる。今後は、事業遂行後の成果と課題をより具体的に把握することにより、次年度の事業展開に活かされたい。	全体評価(年度)				
	R1	R2	R3	R4	R5
	A				

課別評価

担当課	事業番号	評価コメント	R1	R2	R3	R4	R5
子育て支援課	①②	子育ては男女が共に関わるという視点で、子育て情報誌が作成されている点は評価する。ただ、現状では女性が中心の世界なので、男性をエンパワーするサークル情報などの掲載に期待したい。 幼稚園教諭の意識啓発のための研修参加補助は意味のある事業であるが、 各園の研修内容が異なり、資質向上が教育基本法第2条（男女の平等を重んずること）の順守につながるという解釈は、男女平等意識啓発という事業としては、不十分ではないかと思われる。	総合評価				
			A				
			計画内容				
			A				
			執行状況				
			B				
保育課	②	研修内容や各園でのOJTについて、事業実施の結果、どのような効果が見られたか概要の記載が必要である。 実際には、「一人一人の違いを尊重し、その子らしい育ちを大切にする」というガイドラインの実施が志向されているようだが。	総合評価				
			B				
			計画内容				
			B				
			執行状況				
			B				
児童青少年課	②	学童指導員研修において、男女平等の意識に基づいた指導内容が組み込まれ、業務に反映できたことは評価できる。 指導員の入れ替わりもあり、事例研修を超えて男女平等についての研修に踏み込んでいない状況が課題であるという認識が次のアクションにつながることを期待する。	総合評価				
			A				
			計画内容				
			A				
			執行状況				
			A				
課題把握							
			A				

教育指導課	③	「人権教育プログラム」をもとに男女平等意識に基づいた教育の研修を展開するのであれば、家庭科にこだわることは視野を狭めると思われる。プログラムの全教員配布、および理解促進については評価できるが、教育実践につながる研修を工夫されたい。	総合評価			
			A			
			計画内容			
			B			
			執行状況			
			A			
課題把握						
B						
地域共生課	④	民生委員は交替していくことから、継続的に意識の醸成を図っていくことが重要だという問題意識の元、外部研修の活用は評価できる。より理解を深めるために、座学のみでなく参加型研修を工夫されたい。	総合評価			
			A			
			計画内容			
			A			
			執行状況			
			A			
課題把握						
A						
協働コミュニティ課	④	情報誌「パリテ」を核にした意識醸成、および地域各団体との連携の広がりには評価できる。「パリテ」を配布するのみでなく、内容理解が深まるよう、地域ごとに出席講座をするなども検討されたい。	総合評価			
			A			
			計画内容			
			A			
			執行状況			
			A			
課題把握						
B						

基本目標Ⅰ	人権の尊重
課題Ⅰ-3	配偶者等からの暴力の防止と被害者支援（★重点課題）
施策（１）	暴力の未然防止と早期発見
事業	①講演会やパンフレット等による啓発
	②デートDV防止の啓発
	③早期発見に向けた市民、職務関係者との連携
担当課	協働コミュニティ課

施策全体についての評価

講座や資料配布などが内容も対象者もよく考えられており、さらに関係者間の連携も図られており、効果的な事業遂行ができています。	全体評価(年度)				
	R1	R2	R3	R4	R5
	A				

課別評価

担当課	事業番号	評価コメント	R1	R2	R3	R4	R5
協働コミュニティ課	①②③	多様な場所や機会を活用してのDVに関わる資料の配布、適切な講座企画と実施、相談窓口と関係機関との連携等、積極的かつ効果的な事業実施を評価する。今後もより広範で適切な対象者に向けての資料配布や講演会実施等に努力されたい。	総合評価				
			A				
			計画内容				
			A				
			執行状況				
			A				
課題把握							
A							

基本目標 1	人権の尊重
課題 1-3	配偶者等からの暴力の防止と被害者支援 (★重点課題)
施策 (2)	相談窓口の充実
事業	①相談窓口の周知と情報の提供
	②女性相談の実施
	③一人ひとりの状況に応じた相談の実施
	④男性相談のあり方の検討
担当課	協働コミュニティ課・生活福祉課・子育て支援課・子ども家庭支援センター・健康課

施策全体についての評価

西東京市第2次配偶者暴力対策基本計画の重点施策を踏まえて推進体制の進めているように見受けられる。しかしながらDV被害者支援は様々な場面での柔軟な対応と切れ目のない支援が必要とされる。このことを念頭に推進体制づくりをしているように見受けられ評価できる。	全体評価(年度)				
	R1	R2	R3	R4	R5
	A				

課別評価

担当課	事業番号	評価コメント	R1	R2	R3	R4	R5
協働コミュニティ課	①②③④	DV被害を受けている人に安心して相談できる場所があることの周知し、第4次計画の目標値50%を目指し、DVは相談することが解決の一步と周知させたい。現相談体制としては充実しているので今後も更なる充実と切れ目のない支援体制を期待する。	総合評価				
			A				
			計画内容				
			A				
			執行状況				
			A				
課題把握							
B							
生活福祉課	③	個別ニーズに合わせた相談体制に取り組んでいることがうかがえる。状況に応じてはメール等での相談SNSによる相談の必要性も出てくる。また外国籍の方の相談に関しては、外国語サポーターに応援を頼むなど引き続ききめ細やかで柔軟な対応に期待する。	総合評価				
			A				
			計画内容				
			A				
			執行状況				
			A				
課題把握							
B							
子育て支援課	③	一人親家庭が増えている状況の中、相談件数も増えていることはより良い支援ができていると評価できる。さらに情報提供がよりスムーズに行えるようになることを期待したい。子どもの虐待の早期発見、相談体制の充実を図ることを期待する。	総合評価				
			A				
			計画内容				
			B				
			執行状況				
			A				
課題把握							
B							

子ども家庭 支援セン ター	③	DVセンターとの連携には更なる充実を期待する。DVと子どもの虐待は同時に家庭内で起こっていることが多い。そのためには支援者の相互理解を踏まえ、ケースカンファレンスは欠かせない。支援体制を多方面から検討し、よりよい連携体制をを期待する。	総合評価			
			A			
			計画内容			
			A			
			執行状況			
			A			
課題把握						
B						
健康課	③	個別のニーズに即した支援体制を評価するとともに専門職の配置に対応力を上げたことに今後期待がもたれる。	総合評価			
			A			
			計画内容			
			A			
			執行状況			
			A			
課題把握						
B						

基本目標Ⅰ	人権の尊重
課題Ⅰ-3	配偶者等からの暴力の防止と被害者支援（★重点課題）
施策（3）	被害者の安全の確保と自立への支援
事業	①緊急一時保護の実施
	②民間支援団体との連携
	③一人ひとりの状況に応じた関係部署間の連携による支援と情報の提供
	④被害者への自立支援の実施
担当課	協働コミュニティ課・健康課・生活福祉課・子育て支援課

施策全体についての評価

DV被害者支援は継続的な支援と他機関、庁内の連携体制の下でのケースワークが必要となる。この点を踏まえて、総体としてきめ細かい配慮をしての支援体制が見受けられる。今後は庁内におけるマニュアルを作成し、よりスムーズな支援体制を期待する。	全体評価(年度)				
	R1	R2	R3	R4	R5
	A				

課別評価

担当課	事業番号	評価コメント	R1	R2	R3	R4	R5
協働コミュニティ課	①②③④	生きづらさは、女性・男性を問わない。そのために男性相談の必要性があり、どう庁内で連携し実現するかを検討していただきたい。と同時にLGBTに対しての相談窓口もできることを期待したい。緊急一時保護に対しては民間シェルター等利用しやすい体制づくりを検討し、DVから抜け出す第一歩と位置付けよりよい支援体制を望む。	総合評価				
			A				
			計画内容				
			A				
			執行状況				
			A				
課題把握							
B							
健康課	③	DV被害者の親子は孤立しがち。また、心のケアを必要としている場合も多々ある。このことを視野に入れて、個別のニーズに即した支援を期待したい。特にDV被害者のメンタル面でのサポートはそれぞれの関係機関と連携を図りながら中長期的な支援体制の実施が望まれる。	総合評価				
			A				
			計画内容				
			A				
			執行状況				
			A				
課題把握							
A							
生活福祉課	③	DV被害者の支援体制として経済的な側面でのサポートは欠かせない。一人一人のニーズを踏まえ、必要な支援が受けられるようにきめ細かい配慮を期待する。特に家庭相談員の役割は大きく、他機関、庁内での連携を密にしながら自立に向けてのサポートを期待する。	総合評価				
			A				
			計画内容				
			A				
			執行状況				
			A				
課題把握							
A							
子育て支援課	③	家庭の中でDVと子どもの虐待は表裏一体の関係にある。DV家庭においては子どもは最大の被害者であるが自らSOSを上げにくい。虐待の早期発見の要である子育て支援課においてDV相談と更なる連携を深め、虐待の早期発見を目指したい。このことで親子とも楽になる視点でのサポート体制を組めるよう期待する。	総合評価				
			A				
			計画内容				
			A				
			執行状況				
			A				
課題把握							
A							

基本目標Ⅰ	人権の尊重
課題Ⅰ-3	配偶者等からの暴力の防止と被害者支援（★重点課題）
施策（４）	市の体制整備に向けた取り組みの強化
事業	①職員研修の実施
	②相談員の資質向上とメンタルケア
担当課	協働コミュニティ課

施策全体についての評価

<p>配偶者暴力被害者支援担当者会議を活用したワークの実施などを評価します。庁内相談窓口職員が参加しやすい研修、情報提供の場をさらに検討、実施いただきたい。</p> <p>相談員の資質向上は、被害者支援の適切な対応の重要な要素なので、有効な取組みを期待する。</p>	全体評価(年度)				
	R1	R2	R3	R4	R5
	A				

課別評価

担当課	事業番号	評価コメント	R1	R2	R3	R4	R5
協働コミュニティ課	①②	<p>庁内相談窓口職員に対して、平成30年度のDVの基礎研修に続き、令和元年度はワークを用いた研修と、内容も工夫されている点を評価します。</p> <p>相談員の資質向上とメンタルケアにスーパーバイズを年5回実施し、東京都主催のスーパーバイズに参加していることを評価します。相談員の要望も聞きながら、引き続き取組みを進めていただきたい。</p>	総合評価				
			A				
			計画内容				
			A				
			執行状況				
			A				
課題把握							
A							

基本目標Ⅰ	人権の尊重
課題Ⅰ-3	配偶者等からの暴力の防止と被害者支援（★重点課題）
施策（５）	関係機関との連携強化
事業	①庁内関係各課との連携の強化
	②各種関連機関・専門家との連携の強化
	③配偶者暴力相談支援センター機能の検討
担当課	協働コミュニティ課・関係各課

施策全体についての評価

配偶者暴力被害者支援担当者連絡会議などを通じて、庁内関係各課との連携を図られていることを評価します。配偶者暴力相談支援センター機能を検討しつつ、DV被害者の相談から自立まで、切れ目のない支援への取組みを強化いただきたい。	全体評価(年度)				
	R1	R2	R3	R4	R5
	A				

課別評価

担当課	事業番号	評価コメント	R1	R2	R3	R4	R5
協働コミュニティ課	①②③	庁内関係部署と連携強化に継続的に取り組んでいることを評価します。 平成31年4月に都内で新たにひとつ配偶者暴力相談支援センター機能整備されたので、参考にされたい。また、東京都の関連施設で配偶者暴力相談支援センター整備機能等に関する質問・相談を受け付けているので活用し、ワンストップサービスの提供が行える体制、配偶者暴力相談支援センター機能についての検討を進めていただきたい。	総合評価				
			B				
			計画内容				
			B				
			執行状況				
			B				
課題把握							
B							
関係各課 (下記の各課)	②	各課ともに配偶者暴力被害者支援担当者連絡会議に参加され、連携を図られていることを評価します。生活福祉課のウィメンズプラザの研修などに参加し、DVの基礎知識を再確認するなどスキルアップに務められている点、子ども家庭支援センターも出前講座や虐待防止支援員養成講座の開催の中で、DVや夫婦喧嘩が児童に対する心理的虐待にあたることを丁寧に取り上げている点を評価します。	総合評価				
			A				
			計画内容				
			A				
			執行状況				
			A				
課題把握							
A							

(市民課・保険年金課・健康課・生活福祉課・高齢者支援課・障害福祉課・子育て支援課・保育課・子ども家庭支援センター・学務課)

基本目標	人権の尊重
課題 - 4	男女平等を阻む暴力の防止（セクシュアル・ハラスメント、ストーカー、性暴力等）
施策（1）	暴力の防止に向けた意識啓発
事業	①暴力防止に関する情報提供と学習機会の提供
	②市内事業所への意識啓発
	③暴力の防止に関する市職員・教員への啓発・研修
担当課	協働コミュニティ課・職員課・教育指導課

施策全体についての評価

教える立場にある方々が研修を受け、男女平等を意識する事で次世代へ伝えられる仕組みがある事を高く評価する。市民への啓発をより広く多く届けて頂きたい。	全体評価(年度)				
	R1	R2	R3	R4	R5
	A				

課別評価

担当課	事業番号	評価コメント	R1	R2	R3	R4	R5
協働コミュニティ課	①②③	講座の開催や図書の実等で学習機会の提供はされている事を評価する。多岐に渡り、都や他市と連携して事業を行っている事も高く評価出来る。全職員に研修を行う工夫が必要。	総合評価				
			A				
			計画内容				
			A				
			執行状況				
			B				
課題把握							
A							
職員課	③	様々な部署の職員が自分の良いタイミングで研修を受けられるe-ラーニングは時代に合った取り組みだと評価する。	総合評価				
			A				
			計画内容				
			A				
			執行状況				
			A				
課題把握							
A							
教育指導課	③	毎年度研修を行い、役職者や初任者にに啓発している事を評価する。課題にもある通り、より充実した研修を期待する。	総合評価				
			A				
			計画内容				
			A				
			執行状況				
			A				
課題把握							
A							

基本目標Ⅰ	人権の尊重
課題Ⅰ-4	男女平等を阻む暴力の防止（セクシュアル・ハラスメント、ストーカー、性暴力等）
施策（2）	暴力の被害者に対する支援
事業	①相談の実施
	②女性相談の実施(再掲)
	③緊急一時保護の実施(再掲)
担当課	教育支援課・協働コミュニティ課

施策全体についての評価

関係機関と連携されている事は市民の安心材料となる。必要とされる市民が相談窓口の場所や、どのような支援を受けられるのかを今後も広く周知されたい。	全体評価(年度)				
	R1	R2	R3	R4	R5
	A				

課別評価

担当課	事業番号	評価コメント	R1	R2	R3	R4	R5
教育支援課	①	関係機関の連携が取れている事は評価する。課題も分かっているので、今後の対応がよりスムーズになる事を期待する。	総合評価				
			A				
			計画内容				
			A				
			執行状況				
			A				
協働コミュニティ課	②③	複数箇所相談できる窓口を設けられ、多数対応されている事、情報誌パリテ等でも女性相談を周知されている事を評価する。該当者への対応も良かった。	総合評価				
			A				
			計画内容				
			A				
			執行状況				
			A				
			課題把握				
			A				

基本目標	人権の尊重
課題 - 5	性と生殖に関する健康支援
施策 (1)	からだ性と性に関する正確な情報の提供
事業	①発達に応じた性教育の実施
	②性と生殖に関する健康支援情報の提供
担当課	協働コミュニティ課・健康課・教育指導課

施策全体についての評価

難しい事業である事は理解するが、早急に幼児・児童・生徒に正しい知識をどのように提供すべきかを具体的に示して頂きたい。	全体評価(年度)				
	R1	R2	R3	R4	R5
	B				

課別評価

担当課	事業番号	評価コメント	R1	R2	R3	R4	R5
協働コミュニティ課	①②	性の多様性を啓発する取り組み、パリテまつりや情報誌パリテの記事作成に当事者団体が参加された事を高く評価する。リプロダクティブ・ヘルス/ライツの掲示がパリテに来所した市民しか気付かない事が残念。多くの市民に啓発されたい。	総合評価				
			A				
			計画内容				
			A				
			執行状況				
			B				
			課題把握				
A							
健康課	①②	幼児期から自分のプライベートゾーンが大切であることを、保護者だけに任せるのではなく、保育園・幼稚園などの施設で教えるよう指導できるのではないか。各事業に参加された市民に対し、リプロダクティブ・ヘルス/ライツを意識して取り入れて欲しい。	総合評価				
			B				
			計画内容				
			B				
			執行状況				
			B				
			課題把握				
B							
教育指導課	①	都の「性教育の手引き」を参考にし、各学校に指導されているが、課題である成果についての振り返りが大切ではないか。	総合評価				
			B				
			計画内容				
			B				
			執行状況				
			B				
			課題把握				
B							

基本目標Ⅰ	人権の尊重
課題Ⅰ-5	性と生殖に関する健康支援
施策(2)	性差に応じた健康支援
事業	①女性専門外来に関する情報提供
	②女性・男性特有の病気に対する予防と検査の実施
担当課	協働コミュニティ課・健康課

施策全体についての評価

相談の対応を個別に行われ、情報を提供し 外来受診 に繋がられている一連の流れが出来ている事を評価する。 若年層への啓発も同時に期待する。	全体評価(年度)				
	R1	R2	R3	R4	R5
	A				

課別評価

担当課	事業番号	評価コメント	R1	R2	R3	R4	R5
協働コミュニティ課	①	個別対応され、 女性専門外来 受診に繋がられている事を評価する。	総合評価				
			A				
			計画内容				
			A				
			執行状況				
			A				
健康課	①②	デリケートな領域になるので講座の開催自体が難しいのではないかと感じる。現状の執行と共に、課題である情報の集約に期待する。検診等で該当の年齢の市民に対し受診を促している事を評価する。	総合評価				
			A				
			計画内容				
			A				
			執行状況				
			B				
課題把握							
A							

